

教科名 科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
家庭	2	1年次・普通科	必修修	家庭総合 (自立・共生・創造) (東京書籍)	なし
家庭基礎					

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住の生活の自立と設計、持続可能な消費生活・環境など、生涯に関わるであろう事柄について、基礎的・基本的な知識や技術を習得する。また、持続可能な社会を作る暮らしの担い手として、家庭や地域の課題などを解決する力を付けるとともに、生活の向上を目指す。
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」 生活を営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基本的なことについて理解しているとともに、それらに係わる技術を身につけている。</p> <p>「思考・判断・表現」 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして題を設定、解決策の構想を行い、実践したものを評価改善できる。また、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 様々な人々と協働し、よりよい社会を築くよう、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の向上を図るための実践力がある。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 各単元の観点・基準をふまえ、定期考査における基本問題や実習・実技で評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」 各単元の観点・基準をふまえ、定期考査における基本問題や実習・実技で評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 各単元の観点・基準をふまえ、課題の解決に主体的に取り組む、振り返って改善などができているか、振り返りシートで評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1章生涯を見通す「人生を展望する」「目標を持って生きる」…自立した生活を営むために、生涯発達の観点からライフステージの特徴と課題を理解する。</p> <p>第2章人生を作る「人生を作る」「家族・家庭を見つめる」…家族・家庭をめぐり社会環境が変化化する中で、自立した社会人になるため、どうすれば家族や地域、社会と協力・協働して、豊かな家庭生活や地域社会を創造していくことができるか考える。</p> <p>第3章子どもと友に育つ「命を育む」「子どもの育つ力を知る」「これからの保育環境」…子どもの育つ力を理解するとともに、親となったとき、あるいは地域や社会の一員として、どのように子どもたちと関わり、協力・協働して子どもを育てていくか考え、理解する。</p> <p>期末考査</p>
2 学期	<p>第4章超高齢社会を共に生きる「超高齢・大衆長寿社会の到来」「高齢期の心の特徴」「これからの家庭生活と社会」…高齢期の特徴や高齢者の自立と支援、超高齢社会の現状と課題について学び、どのような高齢期を迎えたいか考える。</p> <p>第5章共に生き、ともに支える「私たちの生活と福祉」「社会保障の考え方」「共に生きる」…私たちが社会で支え合う仕組みを学び、協力・協働の視点から、これからの社会の仕組みはどのようにしていけばよいか考える。</p> <p>第7章衣生活を作る「被服の役割を考える」「被服を入手する」「被服を管理する」…一人ひとりが科学的視点に立って各ライフステージにおいて健康で快適に装うとともに、様々な立場の人が安全で豊かであること、さらには資源や環境の持続性など地球の未来を視野に入れて、衣生活を創造できる力を身につける。</p> <p>実技実習:基礎縫い、エプロン制作…手縫いの基礎を学ぶとともに、作品を制作することによって、技術の習得を確認する。</p> <p>第6章食生活をつくる「食生活の課題について考える」「食事と栄養・食品」「食品の選択と安全」「生涯の健康を見通した食事計画」「食生活の文化と知識」「これからの食生活」「調理の基礎」…自分自身の健康寿命や次世代の心身の健康に係わる大切な時期であることを理解し、科学的な理解を基に、安全でよりよい食生活とは何かについて考える。</p> <p>実習実技:調理実習…調理に適した材料の切り方や基本的な調理方法を知る。</p> <p>期末考査</p>
3 学期	<p>第8章住生活を作る「住生活の変遷と住居の機能」「安全で快適な住生活の計画」「住生活の文化と知恵」「これからの住生活」…日々の生活の拠点である住居</p> <p>第9章経済生活を営む「情報の収集・比較と意志決定」「購入・支払いのルールと方法」「消費者の権利と責任」「生涯の経済生活を見通す」「これからの経済生活」…自立した消費者として適切に意志決定を行い、生涯を見通して経済生活をマネジメントする力を身につけるとともに、どうすれば地域や社会と協力・協働しながら持続可能な消費者市民社会を実現できるか考える。</p> <p>第10章持続可能な生活を営む「持続可能な生活を目指して」…現在地球全体で起こっているさまざまな問題を知り、大量生産・大量消費型のライフスタイルが引き起こしている課題は何かを学び、消費者として何ができるか考える。</p> <p>第11章これからの生活を創造する「生活をデザインする」…第1章からの学びを通して、これから何を学ぶか、どのような人生を歩むか生活設計をするとともに、これからの社会を創造する。</p> <p>ホームプロジェクト</p> <p>期末考査</p>
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	実習費として年間2,000円必要。